



Nagoya GRAMPUS

名古屋グランパス ワイズメンズ クラブ

NAGOYA YMCA5-2 KAMIMAEZU2 NAKAKU NAGOYA 460 JAPAN

国際会長標語 「奉仕による成長」
 アジア会長標語 「無私の奉仕で輝く未来へ」
 西日本区理事標語 「ベクトルを合わせ、地域と共に活動を」
 中部部長標語 「ワイズライフを楽しみましょう 例会を潤いの場に・・・」
 クラブ会長標語 「Lets get together and have fun」

2002年9月号

< 今月の聖句 >

主に従う人よ、主によって喜び歌え。主を讃美することは正しい人にふさわしい。琴を奏でて主に感謝をささげ 十弦の琴を奏でてほめ歌をうたえ。新しい歌を主に向かってうたい美しい調べと共に喜びの叫びをあげよ。

詩篇 33

例会出欠・遅刻の連絡は「ご出欠連絡書」によりお願いします

2002年9月例会ご案内

第一例会

と き : 9月5日(木)
 と ころ : 名古屋YMCA
 時 間 : PM7:00~

グランパス10周年記念行事準備総括

夕食弁当を用意しますので出欠を
 9月2日(月)までに FAX or E-mail に
 て吉田兄までご連絡願います。

FAX : 052-876-9735
 e-mail : marus@mc.ccnw.ne.jp

第二例会

と き : 9月19日(木)
 と ころ : 名古屋YMCA
 時 間 : PM7:00~
 10周年記念事業委員会等

その他

「平和の灯」集会
 と き : 9月11日(水)
 と ころ : 名古屋YMCA

中部部会

と き : 9月15日(日)
 と ころ : 中日パレス

国際協力募金

と き : 9月29日(日)

8月例会	例 会 出 席 状 況				B Fポイント		クラブファンド(8月)	
	在 席 者	18名	第 1 例 会	13名	当 月・切 手		ニコBOX ノート	
例会出席者	13名	第 2 例 会	11名	当 月・現 金		感 謝 ファンド		
当月出席率	72.2%	部 会 他	名	累 計		累 計		

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”
 = 強い義務感を持つ。義務はすべての権利を伴う =

8月第一例会報告

今年度総会後の実質1回目となる例会、多くのメンバーが集まって、暑気払いを兼ねてビール片手に大いに「10周年」の話題に花を咲かせようと計画いたしましたが、残念ながら集まったのは10人足らず。今のグランパスを象徴する結果となりました。(今回も辛口でいくぞお～。)それはそれ、話題に事欠かない我がクラブ精鋭のメンバー、話もあっちに飛んだり、こっちに飛んだり、楽しいひとときを過ごしました。世の中真っ暗な昨今、やっぱりワイズの仲間という時は憂さも忘れ、気の置けない話で盛り上げられるのです。ハイ!

さて、気になる「10周年」。11月の「フィリピンワークキャンプOB会」と12月の「記念例会」と、日にちも刻々と迫ってきています。そろそろメンバー一人ひとりが自覚を持たないと***です。グランパスの原点に戻って、一丸となってやりましょう!ねえ～。みなさあ～ん。(最後は甘口になってしまいました)

服部庄三



残暑特集

猛暑のなごり続く今日この頃。メンバー各位はこの夏をいかに過ごされたか.....

大人の夏休み(はじめての海外旅行)

2002年8月12日夕刻。私は、一人で小牧空港にいました。とうとう友達もいなく生まれて初めて一人で海外旅行となりまして、これから起こるアドベンチャーに不安と期待に胸を膨らませて飛行機に乗りました。一人と言いましても目的地パラオでは、ダイビングクルーズで同じ目的の人と4日間船の上での生活ですのですぐに友達もできるのであります。パラオにつきましておどろきました、8月は雨季で北西の風が強く吹き曇りがちの天気です日本より涼しくとても赤道近くの常夏の島ではありません

せんでした。実はパラオへは、現地で聞かれて思い出したのですが今回で6度目の渡航で、それほど素晴らしいところで、私の文才ではとても表現できませんがみなさんもぜひ一度行かれるといいですよ。名古屋からは、月に2回ほどJALのチャーターにて4時間ほどいけます。費用は沖縄と変わらないと思います。



さて私のアドベンチャーは、ほとんどダイビングでした北西の風のせいで「ブルーコナ」等の世界でも一級ポイントは潜ることはできませんでしたが、素晴らしい海との出会いがありました。期待の若いおねえちゃんとの出会いはありませんでしたが。今回はグランパスのデジカメをお借りしまして水中ハウジングを購入しはじめてのデジカメ撮影に挑戦しましたが、これがいつものアナログ撮影にくらべまして簡単に撮れてしまい20年近くの中水撮影があほらしく思えます。水中ハウジングは、いつでも皆さんにお貸しします。海水浴や、川遊び、スキーまたはお風呂の中で.....



パラオは、最近ダイバーだけではなく家族で楽しめるようにシーカヤック、水族館、博物館等の施設ができてきました。今回は、イルカとふれあうことのできるドルフィンパシフィックにもいってきました。触れあうといっても生半可のものではなく水深10mの囲われた海の中でいっ

しょに泳ぐことができほとんど「わんぱくフュリッパー」状態でした。ちゃんとした研究所でわかりやすくイルカのお勉強もできます。お勧めであります。

今回のパラオは、海と天気がいまいちでしたが食事と友達に恵まれました、また今度は乾期の3月頃に行きたいです。

坂口功祐



僕の夏休み

何年ぶりだろう。9連休の夏休みである。こんなに長いとかえって何をしたいやらわからない。・・・贅沢な悩みである。子供も大きくなってくると、それぞれのスケジュールがあり5人で一緒にどこかへ行く機会も減っていたが、灼熱の名古屋を離れ、2泊3日で乗鞍高原に出かけた。

元YMCAスタッフ藤原タンクのやっている「かほりの宿・萌木庵」にお邪魔しました。なんと今年は手作りの温泉棟および露天風呂ができており、大変こちよい3日間を過ごしました。



また、せっかく乗鞍に行くことになったので、上高地にも足を伸ばし、心休まる自然を満喫してきました。あとは長島へ人の群れを見物に行った

り、JRAに投票に行ったり、最終日には、半日かけて特製カレーをつくって総仕上げとなりました。



終わってしまえばあっというまの9日間でした。

しっかりリフレッシュしたので、また仕事にワイズに精力を注ぎたいと思います。

お正月までがんばるぞ～！

PS:このお休みをいっそう楽しくしてくれたのはJRAのかわいいお馬さんたちでした。

秋競馬もがんばります。

佐々木忍

絵と涼を求めて！



500万画素デジカメを買ってからずっと欲求不満気味。「白馬を撮りたい」の気持ちは募るばかり。満を喫して夏休みをとって行ってきました。但しこの弱った足腰での遭難回避として雪渓までの撮影紀行となりました。名古屋では35度、雪渓の上では15度。この贅沢な20度差の大自然の中に身を置けば、ただ寒いだけとメネットは言いますが、クーラーでは味わえない肌に優しい贅沢な寒さです。加藤兄にも誇れるいい写真撮れましたよ。

さて3泊4日といっても中2日間が有効活用日。この際志賀高原にも行こうと鬼無里村～戸

隠村～山田牧場経由で横手山のあのパンを食べてきました。もちろん鬼無里村の日本一旨いトウモロコシは忘れませんでした。夕刻の集中豪雨・がけ崩れにもめげず無事走破できたのは頼れる我が愛車のおかげです。



定宿は白馬どんぐり村のペンション。名古屋出身の方がオーナーで毎夏我が家の別荘となっています。清しい朝、木々の香りの中鳥のさえずりを聞きながらの朝食は最高の贅沢でしょう。この涼しい夏を体験したらもう病みつき。来年の夏はぜひメンバー各位と行きたいと思えます。白馬周辺の名所旧跡は言うに及ばず、温泉(もちろん露天風呂)穴場等々ご案内します。ペンションのホームページURLはこちら

<http://www1.ocn.ne.jp/~alaskan/>

荒川恭次



スペシャルオリンピックス日本

第3回夏季ナショナルゲーム東京団長記

「できることいっぱい」の大会テーマのもと、スペシャルオリンピックスでの宣誓“私たちは

精一杯力を出して勝利を目指します。たとえ、勝てなくても がんばる勇気を与えてください”北は北海道から南は沖縄全国24地区組織、アジアパシフィック6カ国よりアスリート1200名、コーチ、ボランティア2000名が集まり第3回夏季ナショナルゲームが8月15日(木)～17日(土)国立オリンピック記念青少年センターを中心として開催されました。

愛知地区は組織設立後、初めての全国大会にもかかわらず水泳・サッカー・ボウリング・陸上の4競技にアスリート25名、コーチ・役員22名計47名が参加しました。開会式はメインサポーターのKONISHIの総合司会で進められ水泳の金メダリスト岩崎恭子他大勢の応援の



中で華やかに行われた。特にイベントはデズニールランドの人気者のキャラクター総出演での歌とダンスにはアスリート、観客が一体となって楽しくことができました。

16日(金)は11競技の予選会(SOは独自の予選方法を採用している)、17日(土)は決勝と二日間でのハードなスケジュールこなしました。

愛知地区のアスリートたちはサッカー競技ではチーム戦を除き、各種個人技能種目で金銀銅を獲得する活躍でした。それ以上にワールドカ



名古屋YMCAより

ップの会場となった東京スタジアムでのプレーの経験は良き思い出となったと思います。

水泳競技ではアスリート全員が2個の各種メダルを獲得する大活躍。水泳のフォームもとても美しく早く、トレーニング内容及びコーチの質の高さを改めて感じました。特にアスリートの集中力を高め継続させるためのマネジメントには関心させられました。一般の大会と違う雰囲気です。これこそ“コーチ”

ボウリング競技は愛知のアスリートが始球式に選ばれ見事ストライクを出し大きな拍手を頂大感激でした。成績はメダルこそ獲得できませんでしたが、心地よい大会の緊張感の中でこれまた日ごろのスコアを上回る記録でした。

陸上競技は炎天下の中、運営のハプニングもありましたがこれまた全員が自己記録を更新したうえ各種メダル獲得の好成績でした。

このように愛知のアスリートたちは日ごろのトレーニング成果を十分に発揮するとともにビッグゲームという緊張感の中でもパフォーマンスを失わない強さを示すことができた大会でした。



もう一つ評価をしたいことは、団体行動という慣れない環境、緊張感や疲労の中でも体調を崩さず（実は二人ほど崩したが）3泊4日われわれボランティアと一緒に生活ができたことに大いに感謝したい。

このように優秀な成績と成果を収めたナショナルゲーム東京でしたが、これらアスリートを支えたコーチたちの存在にあらためて拍手を送りたいと思います。

また大会事務局は東京 YMCA にあり事務局長として吉崎主事がこの任にあたり大変苦労したとのことも記しておきます。

スペシャルオリンピックス日本・愛知団長
吉田 正（グランパスワイズ）

こんにちは。初めて寄稿します。今月から船戸の後を受けまして連絡主事となりましたボランティアセンター所属の鈴木一弘（すずき かずひろ）です。今回は、グランパスワイズと関係・関連のあった夏のプログラムと今後の秋の予定についてお話をさせていただきます。

坂倉兄、ご乱心?! チャリソンラブキャンプ（8月9日～12日）

32名の元気一杯の聴覚障害児（小4～中2）を招待しての「チャリソンラブキャンプ2002」が今年も日和田キャンプ場で行なわれました。詳細は名古屋青年でも特集されてますが、ここでは裏話を一つ。

キャンプファイヤーのゲームを最も楽しんだのが、子どもではなく実は坂倉洋兄。

「くっついた!」とのゲームでは、「男と女がくっついた!」との題目に大興奮。ゲームが終わった後も「もう1回やろう!」と奇声をあげ、「セク おやじ」とか「へん おやじ」とかあれこれ言われておりました。

（小生はあれはゲーム中の出来事で、実際の坂倉兄は品行方正の紳士だと信じています）

9.11に向け、三井兄より竹100本寄贈

9月11日は、「米国同時多発テロ」の日。名古屋YMCAでは、このテロとそれに連鎖して起きた（起こされた）戦闘・戦争、そして今も続くパレスチナ・イスラエルの紛争など、あらゆる暴力について憂い平和を祈念する「9.11YMCA平和の灯火」を同日の夕方に開催します。

これは、YMCA本館入り口付近に竹筒ロウソクを約500本点灯し、聖歌隊、牧師によるメッセージを聞く催しです。この竹筒を作成することに際し、三井秀和兄より竹の提供をいただきました。

盆も過ぎたばかりの8月17日（土）服部庄三兄、名古屋クラブ；長井潤兄、荻名尚兄平野実郎兄、南山クラブ小林滋記兄らとともにのこぎりを持って、三井兄宅を訪れました。聞くところによると、春にはたけのこ狩りも恒例で行なわれているとのこと。三井兄ファミリー（愛犬も含む）の歓待も受け、大変お世話になりました。

国際協力募金（9/29） YMACAバザー（10/27） チャリティーラン（11/9）

秋は毎年恒例の行事が続きます。街頭募金実行委員では松原誠兄、バザーでは三井兄と山口一徳兄、そしてチャリティーランでは、実行委員長として服部兄にお世話になります。ぜひご協力をお願いします。